

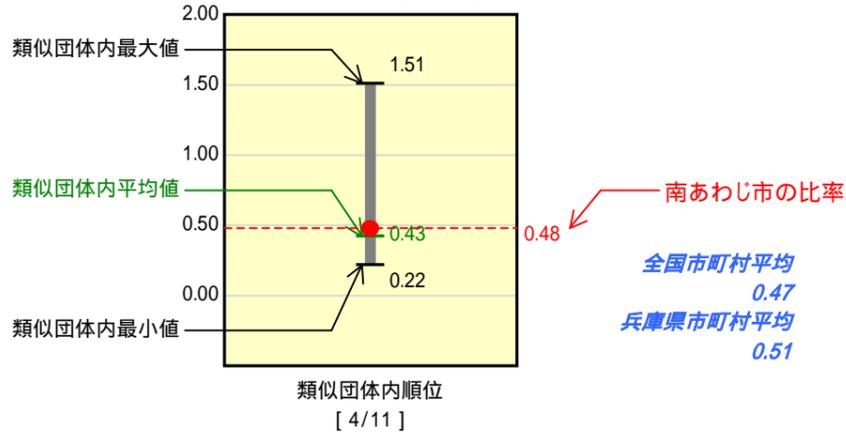
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

兵庫県 南あわじ市

| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 54,510人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 229.17 km ² |
| 歳入総額 | 30,742,594千円 |
| 歳出総額 | 29,470,108千円 |
| 実質収支 | 904,643千円 |

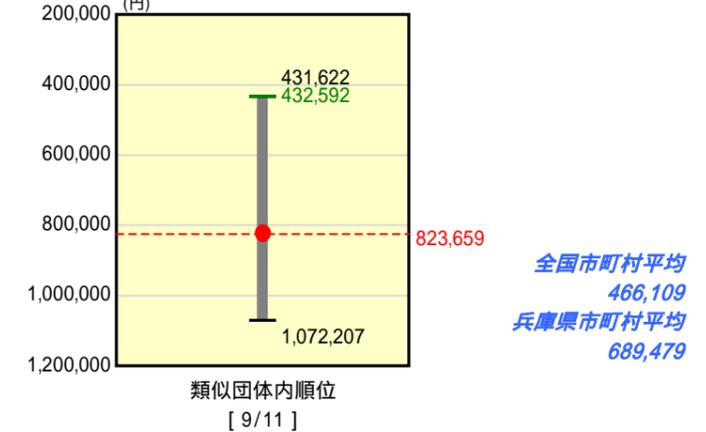
財政力

財政力指数 **[0.48]**



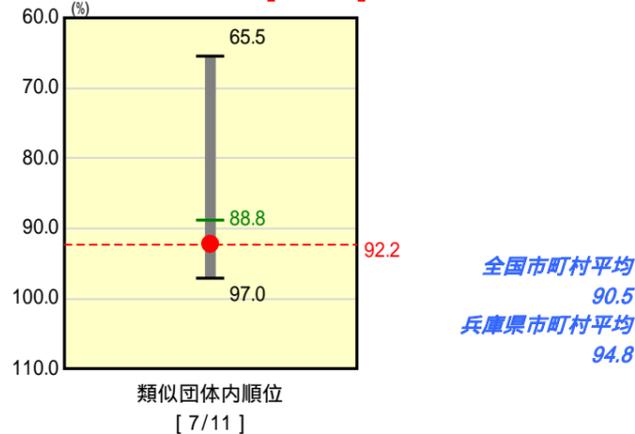
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[823,659円]**



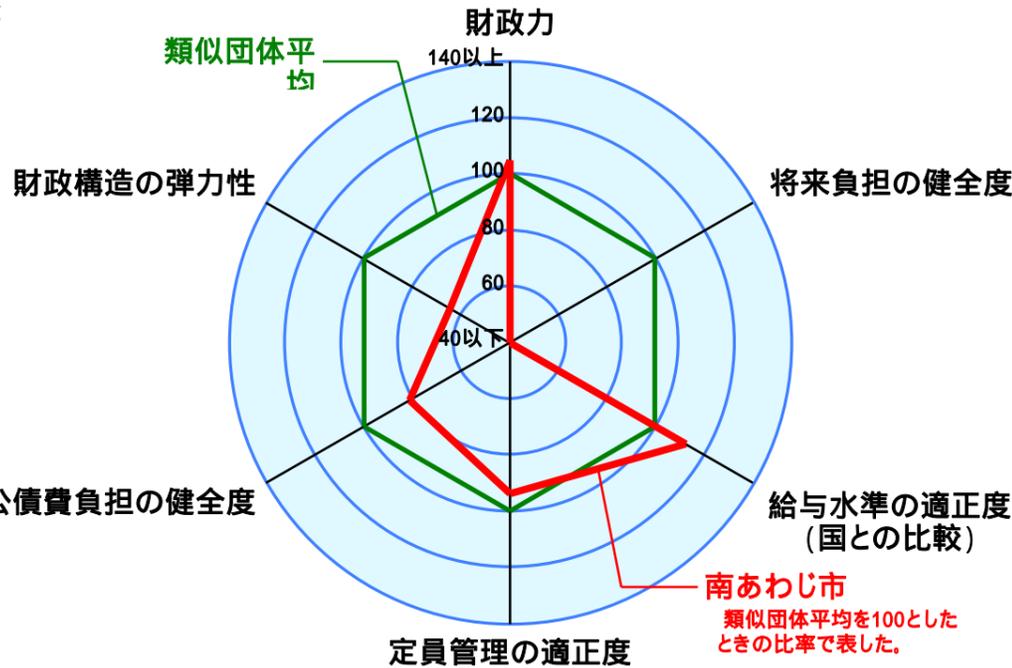
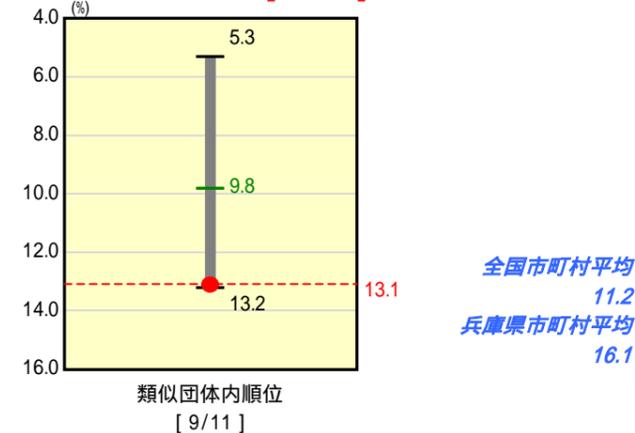
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[92.2%]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[13.1%]**



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

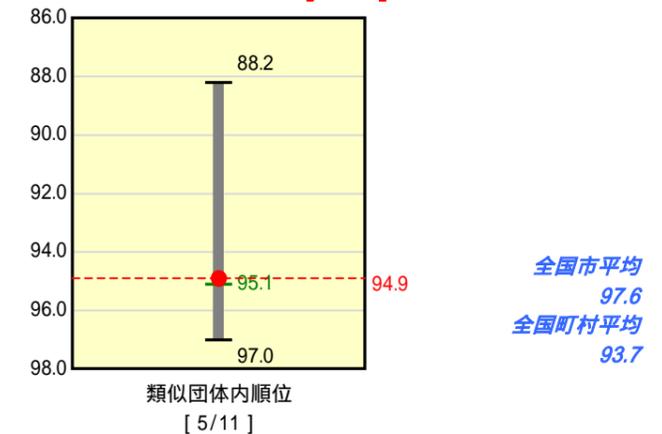
分析欄

- 財政力指数 : 0.48と類似団体平均を上回っているが、職員数の削減による人件費の抑制(5年間で6.2%減)、補助金等の整理統合、投資的経費の見直し、内部管理経費の見直し等で歳出の削減を行うと共に、税等の徴収率の向上対策等で歳入確保に努め、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率 : 扶助費及び公債費の増加により92.2%と類似団体平均を上回っている。「集中改革プラン」に掲げたとおり、定員の適正化や手当の見直しなど行財政改革に取り組み、合併効果による義務的経費の削減を図り、比率の上昇抑制に努める。
- 起債制限比率 : 過去の大型事業に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体の最高値にほぼ達している。今後大規模な事業計画の整理・縮小を図り、起債依存型の事業実施を見直しをすると共に、新規発行の抑制に努め、起債制限比率の急激な上昇を抑える。
- 人口1人当たり地方債残高 : 合併前の地方債の大量発行により、類似団体平均を大きく上回っている。今後、新規発行債の抑制により、後世への負担を軽減する。
- ラスパイレス指数 : 類似団体平均とほぼ同水準、また全国市平均を下回るが、給料表の7級制及び号給の4分割の導入や各種手当の見直し等を行い、一層の給与の適正化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数 : 合併効果による定員の削減に努めているが、現在は類似団体平均を上回る数値となっている。今後、定員適正化計画に基づき、定員管理を行うとともに、民間委託の推進や、組織・機構の見直し等により今後5年間で6.2%の職員数の削減を目指す。

類似団体内平均値については、南あわじ市を含む類似団体(都市 -0型)11団体のうち、選定団体である中野市、西都市2団体の平均値による。

給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[94.9]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[10.35人]**

